昭和50年5月5日
広報あじす　毎月5日
お知らせ版　毎月20日　発行

山口県吉敷郡阿知須町
発行　阿知須町役場
電話 1番・〒754—12
印刷　阿知須砂郷よしの印刷

広報あじす

No.282

町の住民登録人口
（50年4月30日現在）前月比
世帯　2,089世帯　＋6
人口　8.161人　－3
（男3.854人　女4.307人）
（国勢調査昭和45年10月1日）
世帯　2.008世帯
人口　8.035人
男3.730人　女4.305人

伸ばそう〝花とみどりと野鳥のふるさと〟

鳥の天国は人の楽園

愛し育てる気持をもって

五月十日から十六日までは第二十九回〝愛鳥週間〟です。全国的に工業化、都市化がすすみ、自然が破壊されて野鳥の生活の場が狭くなっています。野鳥などが住めないところは人間の住む環境もおびやかされているわけです。本町では〝花とみどりと野鳥のふるさと〟をめざしていますが、これは、愛する心、育てる心を養ない、伸ばして行こうというのがねらいです。野鳥の天国は人間にとって楽園というわけです。今月は、こうした郷土をさらに伸ばしていくための積み重ねとなる話題をとりあげてみましょう。

緑化樹は二千本

花を咲かせ実をならす

本町は四十五年に『緑地管理条例』をつくり、井関川沿い、岡山墓苑、街路、公園などの緑を守り育てるようにつとめてきました。

そして、これまで、約二千本の緑化樹が成木となり、花を咲かせ実をつけるようになっています。

南京ハゼのように実をつけるものは野鳥の餌になり、野鳥の遊び場ともなります。

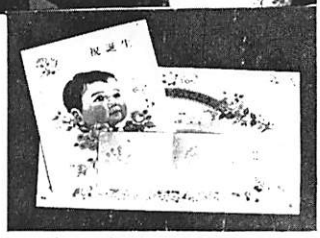
また、花も苗床で育て、移植しては季節を飾るように作業を進め四季おりおりの花が街のあちこちを彩るようになっています。

最初のころ、植えたばかりの木や花が、心ない人々によって盗まれていましたが、最近はそんなことも減り、善意の花も育っていることがうかがえます。

なお、町緑地管理条例には指定区域内で鳥獣を捕獲したり、樹木をいためたりすると二万円以下の過料を定めています。

現在、町で植えている緑化樹は次のとおり。

南京ハゼ	一七〇本
柳	一二〇
つつじ	一〇五〇
桜	一一〇
夾竹桃	一四〇
伊吹	七〇
梅	一五
ぼけ	二〇〇
さざんか	五〇
あじさい	五〇
むくげ	一三〇



町長から証書を受ける下河さん母子（上）と証書

優子ちゃんが第一号

町から誕生証書贈呈

「優子ちゃんおめでとう」…四月になって本町で最初に生まれた赤ちゃん、下河優子ちゃん（岩倉上）＝下河孝さん三女＝に中尾町長から誕生証書が贈られました。

これは、四月以降に生まれた人に町がお祝として贈るもので、優子ちゃんはその第一号。このほど母親の節子さんにだっこされて町長室で渡されました。

この証書には出生の記録名前のいわれ、血液型など書く欄があり、特殊なインキをつければ手足を汚さずに手型、足型もとれるようになっています。

これに健やかな成長を願う町長のお祝のことばも添えてあり、出生のときの記録がのちのちまでも保存できるわけです。

「チーコ」は人気者

拾い育てたスズメ

砂郷三区松浦有朋さん＝山口ちまきや常務取締役＝方に一羽のスズメがいます。名前は『チーコ』

三年前、生まれたばかりのヒナが軒から地面に落ちているのを妻絹代さんがみつけて保護。以来、家の中で育ててきたところ、いまでは家族の一員のよう。

ふだんは家の中で放し飼い。餌は肉、果物、ご飯など小さく刻んでやれば人間さまの食べるものは殆んどたべるが、中でもラーメンは大好物。家の人が『チーコや』と呼べば部屋の隅からでも飛んできて、口うつしで餌を食べたりします。＝写真＝

一度、家から外へ出たこともあるが、間もなく帰って来たとかで「スズメがこれだけ人になつくとは珍しい」と近所の人も感心するほど。死にかけていたスズメが家族のペットになり、子ども一人の松浦さん方は『チーコ』を中心にいつもなごやか。

町をいろどる花のはち

阿知須駅通りと国道の交差点そばの歩道にフラワーポット七個が据えられ、バンジーやプリムラなど可憐な花が道行く人々の目を楽しませています。

町青年同志会の環境づくりの部（渡辺光夫部長）が中心となり、花の種を苗床にまき、育ててきたのを鉢に植え替えたものです。

すでに二月には阿知須バス停そばにも植え、バスの乗降客の目も楽しませています。

（写真は交差点そばのフラワーポット）

ヘリから薬剤散布

松くい虫の防除

松くい虫の被害を防ぐため町では五月二十五日と六月十八日の二回、ヘリコプターで薬を散布し、空から害虫防除に当ります。

松の害敵はマツノザイセンチュウという小さな虫です。これはマツノマダラカミキリに寄生しており、このカミキリは五月から六月にかけて松から松へ渡り、松の新芽を喰います。そこからザイセンチュウが材の中に入り込み樹液を吸うので松は次第に枯れていくわけです。

今回は、ザイセンチュウを媒介するマダラカミキリの活動期をねらって薬剤を撒布し、被害を最少限にとどめようとするものです。

防除区域はゴルフ場の周辺百ヘクタールで、会社や個人の所有山林が対象。

経費は二百五十万円。これを国県町が出し合いますが、松くい虫防除を空から行うのは本町ではことしが最初です。県下ではことし十六市町村が実施します。

野鳥は飼養許可を

野鳥をペットとして飼うことや捕えるには許可がいります。

つまり、マヒワ、ホオジロ、ヒバリ、ヤマガラ、ウグイス、メジロ、ウソの七種類は県知事の許可ほかの鳥は環境庁長官の許可がいります。

現在、本町で知事の許可を受けているものは十三人です。飼養許可を受けたい人は町産業課へ。

お知らせ

川や海岸の清掃は十八日に

町内あげての作業

毎年、続けている川や海岸の清掃をことしも町ぐるみの運動として実施することになりました。

日時は五月十八日午前八時半から。区域は井関川と王路石川、それに海岸です。

担当区域は町内会ごとに割当ててありますので区長さんの指示に従ってください。

雨期を控えての災害防止と、美しい郷土をみんなで守り育てていくための作業です。協力をお願いします。

消毒剤を無料配布

ヘドロ等はがれき捨場へ

ハエやカなど害虫が発生するシーズンになりました。

このため、各地区ごとに道ぶしんや溝そうじの奉仕作業をするところが多くなります。町では消毒剤を地区単位に無料配布しますので、実施される際は役場厚生課へご連絡ください。また、運搬用の車については、各地区で用意されますようお願いします。

なお、ヘドロや、かわら、れんが類は、中学校北の参宮道路沿いの町営がれき捨て場をご利用ください。

名物十七夜祭は今月二十五日に

山車は西条の担当

恒例の十七夜祭は今月二十五日（日）に行われます。

当日の主な行事は、例年どおり昼が山車、近郷柔剣道大会（午前九時・阿中体育館）夜に入ると、花火大会（夜七時半・井関川川尻）管絃船が予定されています。

山車は西条が担当です。

遺族特別給付金の請求を

戦没者の遺族、戦傷病者等の妻に対する特別給付金の請求期限は九月三十日です。該当者は、早目に役場厚生課へ届け出ましょう。

（戦没者等の妻、父母に対する特別給付金）

一、日華事変中の勤務関連傷病により死亡した旧軍人・準軍人

二、昭和十六年十二月八日以後の勤務関連により死亡した軍人（文官）軍属または準軍属（被徴用者等を除く）

三、二十年九月二日以後、海外で特別の事情に関連して死亡した軍人軍属

（戦傷病者等の妻に対する特別給付金）

一、四十六年十月一日現在、障害年金を受ける権利のあった人

二、十六年十二月八日以後の勤務に関連する傷病により、四十六年十月一日において特例障害年金を受ける権利のあった人

三、十六年十二月八日以後の職務に関連する傷病により、四十六年十月一日において特例傷病恩給を受ける権利のあった人

特別弔慰金請求も

特別弔慰金の請求は済みましたか。昭和十六年十二月八日以後の戦没者の遺族で、昭和三十七年四月一日から四十七年三月三十一日までに公務扶助料、遺族年金等の受給者がなくなった方の配偶者、子、兄弟姉妹等が対象。請求の済んでいない人は、今月二十八日までに役場厚生課へ。

事業所統計調査

本町で約三三〇事業所

総理府統計局では、五月十五日現在で、全国いっせいに事業所統計調査を行います。

調査の対象は民営のすべての事業所で、本町では約三百三十事業所が対象となります。

調査は、経営組織、事業の種類従業者数等を調べ、国や都道府県市区町村の行政や経済政策に役立てる資料を得るために行われるものです。

本町では調査区を六つに分けて調査員がお願いに回ります。

記入の内容は統計以外には一さい使用できないように法律で規制されています。したがって内容が外に漏れる心配はありませんので対象となる事業所は正しい数字を記入されますようご協力ください。

善意はここに

〔社会福祉協議会へ〕

◇香典返し▽一万五千円＝久都内博嗣さん（秋川）は祖父支郎さんの▽二万円＝石川隆さん（北祝）は母安子さんの、網田敬さん（縄南）は父唯一さんの▽一万円＝永広トキさん（前山）は夫末さんの香典返しとして。

◇阿知須町青年団（団長中野茂さん）は解散に当って一万円を。

5月のメモ

8日	阿婦人会総会（前10時・町役場） 井婦人会（後1時半・井小講堂）
11日	町民運動会（前8時半・阿中グランド）
13日	栄養教室開講式（前10時）
〃	育児相談（後1時半）
14日	ポリオ生ワクチン（後1時半）
15日	心配ごと相談（前10前～後3時）
19日	戦没者慰霊祭（前10時半・岡山墓地）
〃	町子連総会（後7時半）
25日	十七夜祭

〔時間のある催しは役場〕

（とじておくと便利です）

町の隅からこんにちわ ⑤

町青年団解散にふみきった事情

中野　茂
（小古郷西）

△昭和二十七年に結成された町連合青年団が二十年余の歴史に終止符をうち、解散しました。その最後の団長のことば▽

○―三月末日をもって教育委員会に解散届を出しました。このときの団員は三人です。これでは行事をやろうにもやれません。やむを得ず解散にふみきったわけです

○―理由をいくつかあげると、今までいたものは結婚、その他でやめていき、代りは一人も入らず新規加入を成人式等で呼びかけても効果がないのです。

○―もっと大きい理由はアンケートした結果、望みを失ったのです。方法は阿知須駅前で十八歳から二十四歳までの青年百二人に質問事項をプリントして配り、回答してもらいました。すると青年団に入りたいというものは二人しかいませんでした。入団しないというのは①時間がない②レジャーの多様化ということが殆んどです。青年団についてもよく理解されていないこともあるようでした。

○―余暇をどんなに利用しているかについても質問しましたが、音楽鑑賞が四一%、テレビが二九%。ぼんやり過すが一六%、読書その他一四%という内訳でした。グループ活動については興味がないというのが過半数を占めています。青年団活動にバレーボールをやっていると思っている人も案外多かったようです。実はやっていないのですが…。

○―つまるところ、趣味を同じくする者同士のグループなら集るかもしれないが、目的のばく然としたものには集りにくいということにもあると思います長い伝統をもつ町の青年団をいま閉じたことは諸先輩に申訳ないと思っています。

（薬品卸店勤務・二十四歳）

あじす再発見 ⑱

御米橋

役場のすぐそば、井関川にかかる国道の橋を「御米橋」＝ごまいばし＝と呼んでいます。現在のは昭和四十五年にかけ替えたものですが、それまでの橋＝写真＝は昭和三年につくったものでした。

この名はいつからつけられたか判りませんが、むかし、ここから船に米を積んで沖合いまで出ていたことに由来するといわれます

先祖が船をもち、自分も船乗りだったという磯中正雄さん（西条・七八歳）の話によると、

むかしから、ここは主要道路であった。むろん、土橋であったがこの橋の畔で年貢米の収納が行われた。農民が運んできた米を藩の検士と村役人が立会で受取り、平座船（ひらだ）や伝馬船（てんま）に積み、満潮を利用して、遠石島付近に待期している親船に積みかえていた。数日して満船になれば上方に向けて送り出していたという。

同船については前号で記したように本町沖合には江戸時代からたくさんの船が出入していたのです。陸とこの船の中継ぎをするのは底の浅く、手漕ぎの船でした。

この写真は昭和二十五年ごろのものです。農協へ米を供出する馬車が続いています。むかし船に積んだところを馬が米を引いて通るところです。

ちなみに、本町は防長米の穀倉地帯です。農林省山口統計事務所の資料によると一昨年の十アール当りの平均収量は約八俵半です。県下では秋穂についで二番という数字が記録されています。

50年度の区長さん

五十年度の各行政区の区長さんはつぎの方々です。数字は世帯数（四月一日現在）

区	区長	世帯数
小東	長田　弥平	三一
小西	沖永　貢	七三
小南	川西　泰	七九
前山	八塚　忠男	六九
北祝	隅田　滋	五四
南祝	酒井　好孝	八六
恵比須	徳本　義夫	六三
築地	岡本　浅平	五七
東	松本　修次	六〇
縄南	大野　茂樹	九四
縄北	中村　更甫	六四
中村	真重　章	四三
西条	竹代徳太郎	六六
寺河内	松野　克視	五一
浜	松重喜代治	八六
砂一	宮本　安周	四八
砂二	西村　作一	五〇
砂三	岡部　安雄	一一〇
飛石	早瀬　定甫	八二
沖の原	中村　保二	三八
岩西	田辺市之丞	三三
岩前	古谷　信一	四五
岩西前	西竹　四郎	三六
岩辻	紫田　信義	五三
岩上	前田　勝義	三八
旦東	増野　節雄	三三
旦西	松原　勇次	二四
旦北	重村　三郎	四五
門松	竹原　栄治	三六
岡	松本　哲雄	二九
浜表	中野　恒男	五八
赤迫	兼重サヨノ	四〇
井関	山崎　広	三七
野口	藤谷　高鑑	四七
杖川	山信　義之	二六
河内	江本　隆雄	四六
源河	田井中　巌	三三
向井関	国重　正敏	二七
引野	藤重　光雄	四九
仙在	中戸　剛	二二
青畑	小林　芳男	八
焼野	石川　勇	三

各団体の正副会長

◇阿知須小学校PTA
会長　部坂　充麿　北祝
副会長　磯金　明二　砂一
　　　　井本　鶴代　南祝

◇井関小学校PTA
会長　粟野　廣章　引野
副会長　沢田　隆夫　源河
　　　　山野　伸子　旦北

◇阿知須中学校育友会会長
会長　平海　武二　小西
副会長　北山　利幸　砂三
　　　　背戸山恵美子　旦北

◇阿知須婦人会
会長　門出　清子　東
副会長　天野　延子　縄北
　　　　井本　操　岩前

◇井関婦人会
会長　蔵富士八重子　井関
副会長　重田マサエ　旦東
　　　　国重喜久代　源河

◇老人クラブ連合会
会長　飯田　真秀　門松
副会長　磯中　正雄　西条
　　　　岡村　幹治　岩辻

◇青年同志会
会長　松浦　有朋　砂三
副会長　上野以志夫　縄南
　　　　頃田　清　北祝

新区長と懇談会

建設的な意見が出る

新しい区長さんに町政の進め方を知っていただくと共に、区長さんのご意見も聞こうとする〝区長懇談会〟が四月二十日議事堂で開かれました。

この催しはことしが初めてで、区長は四十二人のうち三十八人、また、町からは町長、助役、教育長をはじめ課・室長ら十一人が出席しました。

中尾町長のあいさつのあと、課室長から担当の業務について連絡や協力のお願いごとをしたあと、区長から質問や要望等が出されました。

町からは日赤募金、川や海岸清掃、緑化、道路の使用についてなどのお願い。区長からは下水・ごみ処理、老人医療の無料化により老人が不必要に医師にかかることを教育によって是正させようなど建設的な意見が出されました。

完納が36組合

納税組合の成績

町では毎年優良納税組合を表彰し、その成績に応じて報奨金を贈っていますが、今年も納税成績により、報奨金を贈りました。

成績は納税率一〇〇%が三十六組合で、町全体の納税率は九九・七九%で昨年より良くなっています。

〔納税率一〇〇%〕
小東、小西、小南、前山、恵比須、東、縄南、縄北、中村、寺河内、浜、砂一、砂二、飛石、沖の原、岩西、岩前、岩西前、岩辻、岩上、旦東、旦西、門松、岡、浜表、赤迫、井関、野口、杖川、河内、源河、向井関、引野、仙在、青畑、漁業組合

〔納税率一〇〇%未満〕
北祝、南祝、西条、砂三、旦北

〔九九%未満〕
築地

婦人会が華道教室

毎月一、二火曜日

阿知須婦人会では五月から華道教室を開きます。開講日は毎月第一と第三火曜日の午後。講師は池坊華道師範・磯崎君子さん（西条）場所も磯崎さん宅。受講希望者は各地区婦人会支部長に申出を。会費は一回二百円、材料は自分持ちです。

山口県愛育大会

曽野綾子さんら講演

県では、お母さん方や、子どもたちのすこやかな成長を願って「山口県愛育大会」をつぎのとおり開催します。

日時　五月十五日午前九時半
場所　宇部市渡辺翁記念館
講演　「愛育の心」替育会病院長木下正一さん。「人間の心」について作家曽野綾子さん。

危険物の取扱試験

県主催の今年度第一回の危険物取扱者試験が六月に行われます。乙種四類、丙種は六月十九日。乙種一、二、三、五、六類は二十日、県下各地で。詳細は四月十八日の県報で公告。

たばこは町内で

国保あんない

歯科治療のトラブルを防ぐには

〔歯科治療の差額徴収について〕

国保でお医者さんにかかった場合、患者は一部負担金として治療費の三割をお医者さんの窓口で支払えばよいことになっています。しかし、歯の治療で特別な材料を希望した場合には保険による料金のほかに、その差額を患者が負担することが認められております。

最近、新聞やテレビ等で歯科治療をめぐるトラブルがしばしば報道されていますが、これは歯科治療において「どこまでが保険診療でどこまでが自費診療なのか」といった点がわかりにくいことや、治療や費用について患者と医師との間で十分な話合いがなされていなかったためにおこる問題です。よく「保険はだめ」とか「保険に使われる材料は永くもたないと聞いたが本当か」という質問がありますが、特定材料（金、白銀、加金陶など）や特殊な治療法以外の通常の治療はすべて保険で受けられるしくみになっており、また、保険で使う材料も厚生大臣の指定したものが使われていますので早く破損したり具合が悪くなるということはありません。

医療機関は差額に関するポスターや、慣行料金を窓口に掲示することになっており、差額については患者が希望した場合にのみ事前に患者の同意を得て行うことができることになっています。

したがって保険で歯の治療を受ける際に差額料金を要する場合は医師や、窓口事務員と十分話合いをして、納得のうえで受診するよう心がけましょう。

県議選の結果

県議会議員選挙は四月十三日行われました。本町の開票結果は次のとおりです。

当日有権者	五、七五九
投票数	四、七一八
投票率	平均八一・九二　男八一・二九　女八二・四五
有効	四、六六〇
無効	五八
吉本　五郎	一、九八三
藤生　仕郎	一、四七〇
山下　元光	一、〇三九
久保田　衡	一六八

吉敷郡の得票は次のとおり

当	藤生　仕郎（自）	八、六四六
次	吉本　五郎	五、四二一
	山下　元光	三、七九九
	久保田　衡	七八五

役場の窓

◆・なたね梅雨でうっとうしい日が続きましたが、月が変って新緑の映える日が多くなりました。町ゆく人の装いは薄着で色彩もカラフルに変ってきました。しかし、暖くなれば食物はいたみやすく、食中毒が起りがちです。食品衛生、環境衛生ともにお互に気をつけたいものです。

◆・社会教育を進めるために公民館だよりを各戸に毎月配ることにしました。いろいろな講座をくわしくのせることにしていますので、ご覧ください。そして、一人でも多く参加されますよう希望します。余暇の有効利用のためにまず公民館のドアーをたたいてみましょう。

慶弔録

出生（おすこやかに）

父	続柄	子の名	月日	部落
引藤義幸	長男	直樹	3・28	飛石
大沢晴昌	長女	聖子	〃	東
須原義徳	長男	貞義	〃	沖ノ原
田中幹雄	三男	由利仁	〃	向井関
下河　孝	三女	優子	4・2	岩上
野村　宏	二男	心造	4・3	野口
坂野定幸	長男	公隆	4・6	小東
中村民郎	長女	明子	4・9	西条
西村泰昭	長男	直弘	4・20	浜表
竹森進二	二男	英和	〃	前山

婚姻（おしあわせに）

縄重久佳（岡本）　杖川
洋子　小南

坂井達穂　旦北
恵美子（西村）　宇部市西岐波

藤田和雄　引野
恵美子（波木）　宇部市沖宇部

藤本義夫　岩上
昭子（西村）　山口市名田島

倉重浩司　宇部市東須恵
ユリ子（中谷）　小西

中村研二　寺河内
千寿子（潮見）　阿武郡阿東町

藤部正秀　宇部市中宇部
淑江（福永）　野口

河原崇治　大島郡久賀町
政子（藤川）　岩上

村田一哲　厚狭郡楠町
敦子（工藤）　築地

弘中雅樹　赤迫
里江（津枝）　玖珂郡錦町

高田広行　山口市宮野上
澄枝（渡辺）　砂三

重村　清　門松
ヒロ子（藤山）　宇部市小串

下川文雄　旦東
恵美子（三寿）　岡山県北房町

岸田輝茂　宇部市新天町
昭子（河村）　南祝

坂井暁彦　旦北
喜代子（山本）　北祝

中尾晴海　南祝
美幸（津脇）　山口市嘉川

綱田　博　小東
光子（久田）　下関市長門町

死亡（ご冥福を祈ります）

氏名	死亡月日	年令	部落
石川　安子	4・10	65	北祝
網田　唯一	4・14	78	縄南
永広　末	4・18	55	前山
古中　藤子	4・21	71	砂三
正司　音松	4・22	76	浜
浜崎　平治	4・25	72	砂三

みんなの広場

浜　正司ウメノ
沈丁花香れる庭に降り佇てば赤き実くわえて鵯は飛び立つ

北祝　原田　双恵
檀那寺のめでたき儀式に着飾りて詣ずる稚児に春日麗う

小東　松尾　君代
六十の齢むかえてふりかえり来し方想えば美しとみゆ

小西　平海アサノ
心安く語り合いつつ吾が旅のお伊勢参りをたのしみており

小西　松尾ウメコ
鯉のぼり立てて孫のよろこぶを見たしと祝う初端午かな

小西　徳本　喜一
茄子胡瓜トマトの苗を植え終えて青空を見つ腰をたたけり

恵比須　中村美津子
年若く嫁ぎ来し我五年経し今も夕餉の菜に迷へり

あなたの文芸作品やご意見お気づきのことなど未発表のものをお寄せください。

浜　石田サダ子
午後の日は何時しか足元にうつりき今日の終りに近づく

砂三　藤永ミツノ
花見酒なみなみつぎしグラスの中舞こみし花びらと共に呑むなり

砂三　渡辺　宮子
荒ぶ世を母と語らうなどしつつ鶯の糞を時かけて摺る

砂二　橋本　淑子
春のあらし戸を打つ音のおりおりにテープに流すとふチャルメラ聞ゆ

砂一　松代　二郎
国旗と町旗安全旗も揚げて仰ぎをり朝の庁舎のわれが行事に

岩西　中本　満枝
満開の桜の下を打連れて校門へ急ぐ列に我居り

砂三　浜崎　恒子
懐しき友より来たりし文読みて幾年振りかに夢で語り合う